

# 徳島県立鳥居龍蔵記念博物館年報

第 12 号 (令和 3 年度)

Annual Report of the Tokushima Prefectural Torii Ryuzo Memorial Museum  
No. 12 (for the fiscal year of 2021)

# 目 次

I 展覧事業	2	V 管理運営	19
1. 常設展		1. 組織・職員	
2. 企画展		2. 防災及び危機管理	
3. その他の展示		3. 鳥居龍蔵記念博物館協議会	
4. 展示関係出版物		4. 視察等来訪者	
II 調査研究事業	9	VI 観覧者統計	21
1. 令和3年度の調査概要		VII 施設の概要	23
2. 研究成果の公表		1. 沿革	
III 資料収集保存事業	11	2. 施設の概要	
1. 館蔵資料数		VIII 例規	24
2. 写真・映像等の提供			
3. 資料閲覧			
4. 資料整理ボランティア			
5. 資料の保存			
IV 普及教育事業	13		
1. 普及行事			
2. 学校教育の支援			
3. 講師の派遣			
4. テレビへの出演			
5. 徳島新聞連載への協力			
6. インターネットによる情報発信			
7. 鳥居龍蔵記念 徳島歴史文化フォーラム			
8. 鳥居龍蔵記念 全国高校生歴史文化フォーラム			
9. 普及教育関係出版物			

# I 展覧事業

鳥居龍蔵記念博物館の展示は、常設展と企画展、その他の展示からなる。

常設展は、鳥居龍蔵の生涯と研究業績を分かりやすく学ぶことができるよう3つの展示室で構成している。

東アジア各地における鳥居の調査ルートをLEDランプで示す床地図、遼王朝の陵墓の復元模型とともに、収集した資料や写真を通して龍蔵の足跡が学べる展示内容としている。土器パズルや民族衣装などの体験学習キット、映像資料が検索・閲覧できるパソコンや、随時展示替えする「トピックコーナー」も設置している。ただし、令和3年度は、前年度に引き続き新型コロナウイルス感染症対策のため、土器パズルと民族衣装の使用を取りやめた。

また、常設展以外に、期間を限定して、特定のテーマに即して開催する企画展等がある。3年度は、企画展を1回、その他の展示を1回開催した。

## 1. 常設展

### (1) 展示構成

#### ■第1展示室 鳥居龍蔵の見たアジア

鳥居龍蔵のアジア調査の成果について、地域別に概観できるよう構成している。写真や民族・考古資料を幅広く紹介している。

1. 台湾・中国西南部
2. 中国東北部・内モンゴル
3. 遼
4. 朝鮮半島
5. 千島列島・サハリン・シベリア
6. 日本列島

#### ■第2展示室 鳥居龍蔵の生涯

人類学を志した徳島での少年時代から、やがて東京に移ってからの研究、家族とともに携わった調査など、生涯にわたる足跡や多彩な交流の様子を紹介している。

1. 人類学への志
2. 家族とともに
3. 南アメリカ

#### ■第3展示室 鳥居龍蔵から学ぶもの

検索機能を備えたパソコンを設置したり書籍を配架したりして、鳥居の学問的な成果が学べるとともに、子どもも楽しめる体験学習キットを用意している。

1. 情報コーナー（パソコンを使った鳥居龍蔵撮影の写真の検索・閲覧や番組型コンテンツの提供）
2. 体験展示（カメラ体験）
3. 図書コーナー（鳥居龍蔵の著作などの閲覧用提供）

### (2) トピックコーナーの展示替え

平成24年度から、第2展示室内の一部をトピックコーナーとし、整理の進んだ資料を中心に、随時展示替えを行っている。3年度の実績は次のとおりである。

#### ●朝鮮半島から、妻・きみ子への便り

令和2年度〔12月1日（火）〕～4月4日（日）

展示資料点数6点（館蔵資料6点）

鳥居が妻のきみ子に宛てた絵葉書によって明らかになってきた、朝鮮半島調査の様相を紹介した。

#### ●鳥居龍蔵、中国の少数民族地帯へゆく

4月6日（火）～7月11日（日）

展示資料6点（館蔵資料6点）

日本人研究者として初となる、鳥居の中国西南部の調査（1902年）について、フィールドノートや苗族の写真をもとに紹介した。



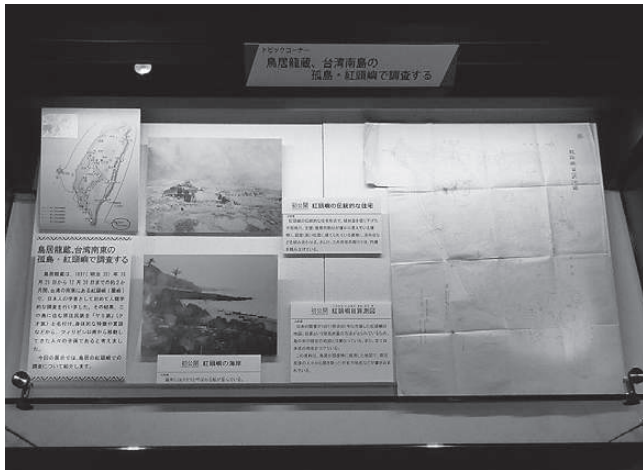
「鳥居龍蔵、中国の少数民族地帯へゆく」の展示状況

●鳥居龍蔵、台湾南東の孤島・紅頭嶼で調査する

7月13日(火)～11月28日(日)

展示資料点数7点(館蔵資料7点)

鳥居が1897年に行った台湾南東にある紅頭嶼の調査について、実際に使用した地図や写真、フィールドノートをもとに紹介した。



「鳥居龍蔵、台湾南東の孤島・紅頭嶼で調査する」の展示状況

●フィールドのコミュニケーション—第一回台湾調査より—

11月30日(火)～令和4年度[4月3日(日)]

展示資料5点(館蔵資料5点)

鳥居の第1回台湾調査(1896年)を取り上げ、原住民族とのコミュニケーションを図ろうとする、鳥居の調査活動を絵画資料をもとに紹介した。



「フィールドのコミュニケーション—第一回台湾調査より—」の展示状況

(3) 常設展入口サインの新設

同フロアにある県立博物館常設展がリニューアルオープンしたのを機に、当館に対する認知度の向上を図るため、常設展入口に新たなサインを設置した。



新設した常設展入口サイン

2. 企画展

(1) 企画展「鳥居龍蔵と草原の遊牧王朝 遼」

鳥居龍蔵の代表的な研究テーマに、遼の文化の研究がある。遼(916-1125)は、遊牧民の契丹族が建国し、中国東北部・内モンゴルなどを支配した王朝である。遼の文化は、中国の文化と契丹族の文化を融合させた極めて高度なものであった。その文化を象徴するのは、民族文字である契丹文字や、陶磁器、仏教建築などである。

鳥居は、1895(明治28)年に、初めての海外調査として遼東半島を訪れ、仏塔などの遼の文化に接した。その後、1907年以降の中国東北部・内モンゴルの調査を通して、遼の遺跡や遺物に触れ、次第に遼の文化に魅了されてゆく。1929(昭和4)年、東方文化学院東京研究所の研究員となった後は、遼の文化を研究の中心に据え、これが後半生のライフワークとなった。そして、1939年にハーバード・燕京研究所に招聘され、拠点を北京に移した晩年に、遼の文化の研究を深めていった。

この企画展では、鳥居が情熱を注いだ、遼の文化の研究とその意義を紹介した。

●主催 徳島県立鳥居龍蔵記念博物館  
徳島県立博物館

●会場 徳島県立博物館企画展示室

●会期 2月5日(土)～3月13日(日)  
(開館日数32日)

## 4 展覧事業

### ●展示構成とおもな展示資料

序章 草原への誘い

#### 第1章 草原の遊牧王朝 遼

- ・遼史 当館蔵
- ・道宗（第8代皇帝）哀冊蓋の拓本 当館蔵
- ・鶏冠壺（出土地不明） 当館蔵

#### 第2章 中国東北部・内モンゴル調査の始まり

- ・フィールドノート 当館蔵
- ・鉄塔の写真 当館蔵
- ・金塔の前に立つ龍蔵の写真 当館蔵
- ・太陽 第2巻第6号 個人蔵
- ・蒙古遊牧記 当館蔵
- ・大清一統志 当館蔵
- ・「大清一統志 卷之四十三 錦州府」の筆写 当館蔵

- ・Report a Journy in Mongolia 当館蔵
- ・世界 第57巻 当館蔵
- ・蒙古旅行 当館蔵
- ・東京人類学会雑誌 第24巻第281号 当館蔵
- ・土俗学上より観たる蒙古 当館蔵
- ・朝陽城の北塔の写真 当館蔵
- ・慶州城の白塔の写真 当館蔵
- ・遼代の中京城跡の写真 当館蔵
- ・ヴェルノール湖の写真 当館蔵

#### 【トピック】鳥居龍蔵が収集した民族資料

－国立民族学博物館資料から－

- ・玩具 国立民族学博物館蔵
- ・帽子 国立民族学博物館蔵
- ・かわごろも 国立民族学博物館蔵
- ・塩入れ 国立民族学博物館蔵
- ・ラッパ 国立民族学博物館蔵
- ・長靴 国立民族学博物館蔵
- ・靴 国立民族学博物館蔵

#### 第3章 家族とともに－町の学者と知の家族－

- ・ホームライフ 第2巻第11号 当館蔵
- ・モンゴルの楽器と歌謡に関するメモと楽譜 当館蔵
- ・馬頭琴 当館蔵
- ・少年 第42号 当館蔵
- ・華社月報 第6巻第1号 当館蔵
- ・鳥居家の年賀状 当館蔵
- ・承德府志 抜き書き 朝陽県 当館蔵

#### 【トピック】鳥居龍蔵のモンゴル語習得

- ・鳥居龍蔵のモンゴル語練習ノート 当館蔵
- ・鳥居きみ子のモンゴル語練習ノート 当館蔵
- ・蒙文初等算術 当館蔵

### 第4章 遼の文化を語る

- ・吉林通志 当館蔵
- ・朝陽県志 当館蔵
- ・満蒙を再び探る 当館蔵
- ・満蒙其他の思ひ出 当館蔵
- ・遼の文化を語る 当館蔵
- ・考古学上より見たる遼之文化 図譜 当館蔵

#### (1) 都城の研究

- ・上京城跡の写真 当館蔵
- ・「遼陽城の城壁と有史以前の遺跡」の写真帖 当館蔵
- ・原稿「考古学上より見たる契丹の文化」 当館蔵
- ・東京城跡北壁の発掘調査の様子の写真 当館蔵
- ・南京城壁調査の様子の写真 当館蔵
- ・原稿「遼の南京城及びその附近」 当館蔵
- ・天寧寺 塔の写真 当館蔵
- ・遼三彩獣面軒丸瓦 当館蔵

#### (2) 陵墓の研究

- ・LES ANCIENNES VILLES DE L'EMPIRE DES GRANDS LEAO 大遼 AU ROYAUME MONGOL DE BÄRIN (『通報』Vol. 21の抜刷) 当館蔵
- ・慶陵の遠景の写真 当館蔵
- ・国華 第490号 当館蔵
- ・緑釉獣面文軒丸瓦 当館蔵
- ・瀋陽での哀冊調査の様子の写真 当館蔵
- ・白塔前に立つ龍蔵ときみ子の写真 東京大学 東洋文化研究所蔵

#### (3) 画像石の研究

- ・慶州城の模式図 当館蔵
- ・緑釉龍文軒丸瓦 当館蔵
- ・鷲峯の墓 遠景の写真 当館蔵
- ・鷲峯の墓の羨道部分に描かれた画像の拓本 当館蔵
- ・きみ子のフィールドノート 当館蔵
- ・鞍山苗圃群の画像石の拓本 当館蔵
- ・鳥居が復元した、画像石のある石室の写真 当館蔵

#### (4) 仏塔の研究

- ・原稿「鞍山苗圃の遼墓群」 当館蔵
- ・Sculptured Stone Tombs of The Liao Dynasty 当館蔵
- ・開原の古塔の写真 当館蔵
- ・北鎮城内の遼代双塔の写真 当館蔵
- ・錦県城内遼塔の写真 当館蔵
- ・奉天北門外の古塔の写真 当館蔵
- ・龍尾山の塔の写真 当館蔵

- ・正定県甲塔（木塔）の写真 当館蔵
- 第5章 遼文化の周縁
- ・燕京大学の鳥居の研究室の写真 当館蔵
- ・武蔵野 第26巻第11号 当館蔵
- ・鄧之誠別辞 当館蔵
- ・龍蔵・きみ子のパスポート 当館蔵
- ・中国引き揚げに際しての物品リスト 当館蔵
- 終章 学知の行方
- ・未完の原稿群 当館蔵 当館蔵
- ・「明代以前貴州省 仏寺道観」整理ノート 当館蔵
- ・「東亜圏の諸民族」目次原稿 当館蔵

●展示資料総点数 173点（館蔵資料 163点）

●観覧料

一般 200円（65歳以上 100円）  
 高校・大学生 100円、小・中学生 50円

●観覧者数 783人

●関連行事

①記念講演会

日時 令和4年3月13日（日）  
 13:30～15:00

会場 文化の森 多目的活動室

講師 古松崇志氏

（京都大学人文科学研究所准教授）

演題 「鳥居龍蔵の遼文化研究—遼（契丹）史研究の新展開をめぐって—」

参加者 52人

②展示解説

第1回 令和4年2月6日（日）  
 13:30～14:30 参加者 12人

第2回 令和4年2月11日（金・祝）  
 13:30～14:30 参加者 20人

第3回 令和4年3月6日（日）  
 13:30～14:30 参加者 13人



記念講演会の様子

鳥居龍蔵記念博物館 令和3年度企画展  
**鳥居龍蔵と  
 草原の遊牧王朝遼**

令和4年  
**2.5<sub>土</sub> - 3.13<sub>日</sub>**

●会場 徳島県立博物館 企画展示室  
 ●開館時間 9:30～17:00  
 ●休館日 月曜日  
 ●観覧料 一般200円、高校・大学生100円、小・中学生50円  
 ※20名以上の団体は2割引  
 ※土・日曜日・祭日は小中学生及び高齢者無料  
 ※学校教育による利用は無料  
 ※障がい者とその介助者1名は無料  
 ※65歳以上は100円  
 ※料金を希望される方は明記できるものを提示ください。

主催：徳島県立鳥居龍蔵記念博物館／徳島県立博物館  
 協力：国立民族学博物館

文化の森総合公園  
 徳島県立鳥居龍蔵記念博物館  
 〒770-8070 徳島市八万町向南山  
 TEL 089-668-2544 FAX 089-668-7197  
<https://torii-museum.bunimori.tokushima.jp>

鳥居龍蔵記念博物館 令和3年度企画展  
**鳥居龍蔵と  
 草原の遊牧王朝遼**

鳥居龍蔵の代表的な研究テーマに、遼の文化の研究があります。遼(916-1125)は、契丹族といふ遊牧民族の王朝で、中国東北部・内モンゴルなどを支配しました。遼の文化は、漢族の文化と契丹族の文化を融合させた極めて高度なものでした。その文化を象徴するものに、民族文字である契丹文字や、陶磁器、仏教建築などがあげられます。

鳥居は、1895(明治28)年に、初めての海外調査として遼東半島を訪れ、仏塔などの遼の文化に接しました。その後、1907年以降の中国東北部・内モンゴルの調査を通して、遼の遺跡や遺物に触れ、次第に遼の文化に魅了されていきました。1929(昭和4)年、東洋文化学院東京研究所の研究員となった後は、遼の文化を研究の中心に据え、これが後半生のライフワークとなりました。そして、1939年にハーバード大学東洋学部に招聘され、研究拠点を北京に移した晩年に、遼の文化の研究を深めていきました。

この企画展では、鳥居が情熱を注いだ、遼の文化の研究とその意義について紹介します。また、鳥居が収集した民族資料(国立民族学博物館蔵)もあわせて展示します。

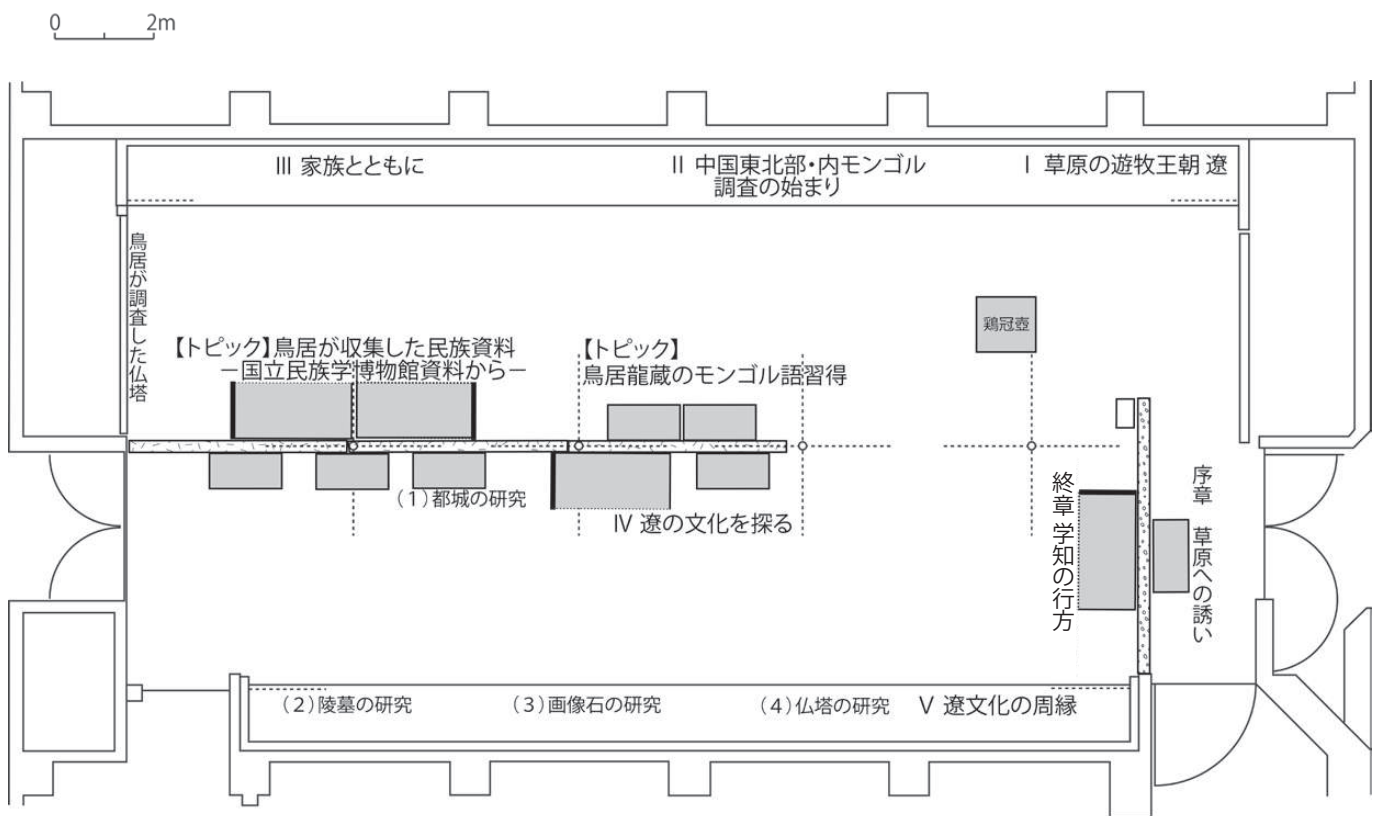
鳥居龍蔵の遺文化研究  
 「遼(契丹)史研究の新展開をめぐって—」  
 講師／古松崇志氏  
 (京都大学人文科学研究所准教授)  
 日時／令和4年3月13日(日) 13:30～15:00  
 ※受付開始 13:00  
 会場／文化の森 多目的活動室  
 定員／50名 ※参加無料、申し込み不要、先着順

展示解説  
 ①2月6日(日)  
 ②2月11日(金・祝)  
 ③3月6日(日)  
 いずれも 13:30～14:30  
 ※新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、予定が変更になることがあります。

文化の森総合公園  
 徳島県立鳥居龍蔵記念博物館  
 〒770-8070 徳島市八万町向南山  
 TEL 089-668-2544 FAX 089-668-7197  
<https://torii-museum.bunimori.tokushima.jp>

チラシ（上：表 下：裏）

## 6 展覧事業



展示配置図



序章 草原への誘い



鶏冠壺



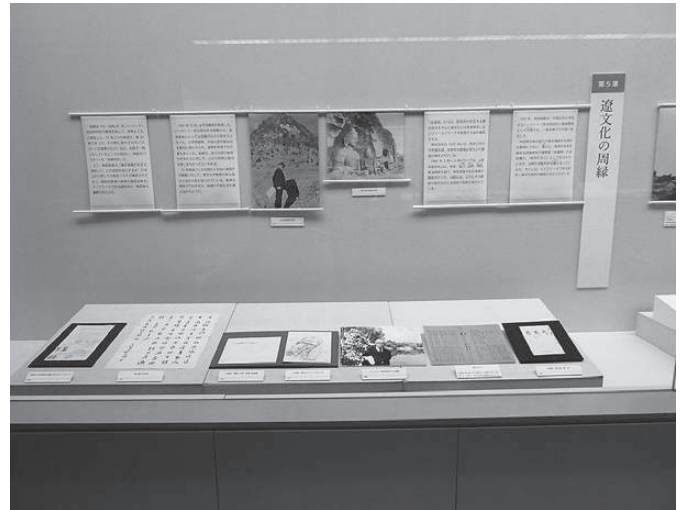
【トピック】鳥居が収集した民族資料  
—国立民族学博物館資料から—



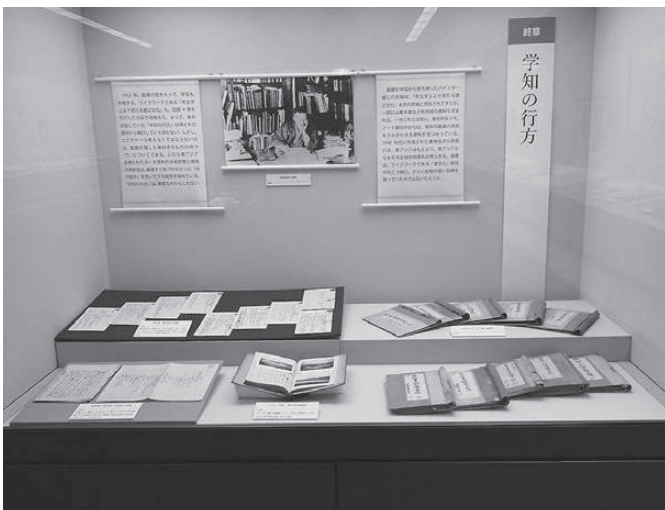
第3章 家族とともに



第4章 遼の文化を探る



第5章 遼文化の周縁



終章 学知の行方



展示室内全景



### 3. その他の展示

#### (1) 2階中央ロビーでの展示

常設展示室前の2階中央ロビーで、小規模な展示を行った。

##### ●鳥居龍蔵が撮影した台湾—人々と風景—

期間 9月14日(火)～令和4年2月6日(日)

展示資料点数 7点(館蔵資料7点)

鳥居が台湾で撮影した原住民族の人々や風景を紹介した。



「鳥居龍蔵が撮影した台湾—人々と風景—」の展示状況

#### (2) 2021年度文化の森人権問題啓発展

文化の森6館と徳島県教育委員会人権教育課との共催で、人権問題啓発展(識字学級生の作品を中心とする展示)を行った。

●主催 文化の森6館、徳島県教育委員会人権教育課

●期間 12月8日(水)～12月14日(火)

●会場 近代美術館ギャラリー(展示)

ミニシアター(ビデオ上映)

●入場者数 305人

### 4. 展示関係出版物

#### (1) 企画展図録

●企画展「鳥居龍蔵と草原の遊牧王朝 遼」図録

2022年2月5日発行、A4判、35ページ、500部



企画展図録の表紙

## Ⅱ 調査研究事業

鳥居龍蔵記念博物館では、設置の趣旨にもとづき、鳥居龍蔵とその周辺に関する調査研究を進めることで、最新の情報を盛り込んだ展示や内容豊かな普及活動による鳥居龍蔵の顕彰を図るための基盤整備を進めている。とくに、館蔵資料に即した調査研究に重点を置いて取り組んでいる。

令和3年度は、専任の学芸スタッフ3人を中心に、兼務職員とともにこの業務に携わっている。

### 1. 令和3年度の調査概要

#### (1) 館外研究者との共同調査

館外の研究者とともに資料調査を行い、相互に研究の進展を図った。以下に、共同研究者とテーマを記す。

- ①台湾史前文化博物館とのオンライン国際シンポジウム  
国際交流協定の締結や共同研究のあり方について、意見交換を行った。
- ②高正龍氏（立命館大学）、松波宏隆氏（龍谷大学）  
鳥居龍蔵の朝鮮半島調査に関する写真資料の調査を行った。



国際シンポジウムの様子

### 2. 研究成果の公表

#### (1) 鳥居龍蔵記念博物館研究報告第5号の発行

2022年3月31日発行、A4判、105ページ、400部  
(\*印：館外研究者)

##### 論説

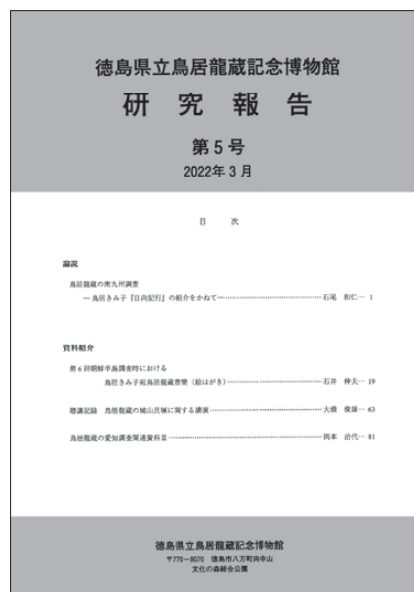
石尾和仁\*：鳥居龍蔵の南九州調査－鳥居きみ子『日向紀行』の紹介をかねて. p.1－18.

##### 資料紹介

石井伸夫：第6回朝鮮半島調査時における鳥居きみ子宛鳥居龍蔵書簡（絵はがき）. p.19－62.

大橋俊雄：聴講記録 鳥居龍蔵の城山貝塚に関する講演. p.63－80.

岡本治代：鳥居龍蔵の愛知調査関連資料Ⅲ. p.81－105.



研究報告 表紙

#### (2) 公表論文・報告・記事等一覧

##### 〈学術的著述〉

長谷川賢二（2022.3）鳥居龍蔵研究の課題と方向性－徳島県立鳥居龍蔵記念博物館10年の歩みを中心に－。「鳥居龍蔵研究」, (5) : p.3－18.

石井伸夫（2022.3）フィールドノート「那賀のあら妙」考－1901年、木頭調査の経緯とその性格－。「鳥居龍蔵研究」, (5) : p.175－192.

〈一般著述〉

- 石井伸夫 (2021.4) (日本人の起源を探る 鳥居龍蔵  
知の旅①) 最新学説と鳥居説. 徳島新聞 2021.4.11
- 長谷川賢二 (2021.5) (日本人の起源を探る 鳥居龍  
蔵知の旅②) 学問人生の原点. 徳島新聞 2021.5.8
- 小倉和也 (2021.7) (日本人の起源を探る 鳥居龍蔵  
知の旅④) 中国南部の少数民族. 徳島新聞 2021.7.9
- 石井伸夫 (2021.9) (日本人の起源を探る 鳥居龍蔵  
知の旅⑥) 南方の新資料. 徳島新聞 2021.9.24
- 下田順一 (2021.10) (日本人の起源を探る 鳥居龍蔵  
知の旅⑦) コロボックル・アイヌ論争. 徳島新聞  
2021.10.19
- 岡本治代 (2022.1) (今季の逸品) 遼代の施釉瓦.  
NEWS LETTER, (1) : p.1.
- 石井伸夫 (2022.1) (資料でたどる、鳥居龍蔵の学問  
と生涯) 第1章 少年、野へ<sup>フィールド</sup>. NEWS LETTER, (1) :  
p.2 - 3. (龍蔵を巡る人々 - 碩学と社会のインター  
フェイス -) 小杉榎邨. NEWS LETTER, (1) : p.7.
- 下田順一 (2022.1) (ゆかりの地今昔1) 錦竜水・滝  
薬師本堂前の石柱. NEWS LETTER, (1) : p.4. (資  
料整理の最前線) 紅頭嶼. NEWS LETTER, (1) : p.5.
- 小倉和也 (2022.1) (鳥居龍蔵に学ぶ「地域学」) 城山  
貝塚. NEWS LETTER, (1) : p.6.

## Ⅲ 資料収集保存事業

鳥居龍蔵記念博物館では、鳴門市にあった旧館（鳥居記念博物館）から引き継いだ資料の詳細な調査・整理やデータ登録、保存を資料収集保存事業の中心としている。令和3年度は、会計年度任用職員2人の援助を得て作業を進めた。

また、鳥居龍蔵に関連する資料の新規購入にも努めた。3年度以降も引き続き、新規収集を心がけていきたい。

### 1. 館蔵資料数

考古資料・民族資料・書籍類・写真・拓本・自筆原稿・書簡等の総数は約70,000点である。調査・整理を継続しており、実数は未だつかめていないが、未開封だった資料の精査が進んできたため、総数は増加傾向にある。

また、3年度は、今後の企画展等の開催計画や情報収集、展示資料の充実を考慮して、一次資料や参考図書を計97点購入した。

### 2. 写真・映像等の提供

- ①鳥居龍蔵肖像写真 1点  
株式会社映学社（貸出、映像制作）
- ②中河内郡恩智村茶禾遺跡調査風景の写真 1点  
公益財団法人八尾市文化財調査研究会  
（モニターでの画像表示に使用）
- ③鳥居龍蔵の台湾調査（1910年）使用の  
フィールドノートの画像 3点  
宮岡真央子氏（貸出、出版物掲載）
- ④三谷遺跡の発掘調査に立ち会う鳥居龍蔵の写真 1点  
湯浅利彦氏（貸出、出版物掲載、映写）
- ⑤「中国貴州省の苗族」の展示状況の写真 1点  
学習院大学大学院生 汪 柯慧氏（出版物掲載）
- ⑥『上総のやどり』表紙の画像データほか 2点  
酒巻忠史氏（貸出、出版物掲載）
- ⑦市原きみ子草稿「百穴の道の記」の  
画像データほか 4点  
鳥居龍蔵を語る会（貸出、出版物掲載）

### 3. 資料閲覧

- ①中国西南部少数民族調査に関する資料 10点  
学習院大学大学院生 汪 柯慧氏

### 4. 資料整理ボランティア

鳥居龍蔵記念博物館の収蔵資料及びデータベースの公開に向けて、平成25年度から歴史文化倶楽部（シルバー大学校及び同大学院の歴史文化講座修了者の会）の会員3名からなるボランティアの協力を得て資料整理作業を進めている。

3年度も月2回程度のペースで活動を行い、必要に応じて有識者の助言を得ながらデータの蓄積を図った。活動実施日は次のとおりである。

- 第1回 4月9日（金）
- 第2回 4月28日（水）
- 第3回 5月14日（金）
- 第4回 5月28日（金）
- 第5回 6月11日（金）
- 第6回 6月25日（金）
- 第7回 7月9日（金）
- 第8回 9月10日（金）
- 第9回 9月22日（水）
- 第10回 10月8日（金）
- 第11回 10月20日（水）
- 第12回 11月10日（水）
- 第13回 11月24日（水）
- 第14回 12月15日（水）
- 第15回 2月22日（火）
- 第16回 3月8日（火）
- 第17回 3月23日（水）



ボランティア活動の様子

## 5. 資料の保存

### (1) 収蔵庫における環境管理

収蔵庫への出入りなどにもなって、害虫やカビなどが侵入する恐れがあることから、定期的に清掃を実施し、虫菌害の防除に努めている。

### (2) 常設展示室における環境管理

常設展示室は、収蔵庫のような密閉可能な空間ではないため、害虫の侵入を防ぐことができず、また、展示室全体の燻蒸が不可能である。そこで、害虫への対策として、防虫剤及びトラップの設置による文化財害虫のモニタリングを行っている。3年度も防虫剤及びトラップの設置を行った。

## IV 普及教育事業

鳥居龍蔵記念博物館における普及教育事業は、鳥居龍蔵の顕彰を推進するための県民に対する情報発信の意味をもち、重要である。また、調査研究や資料収集保存の成果を示すという意味でも、展示とともに意義深い事業といえる。

### 1. 普及行事

令和3年度は、鳥居龍蔵セミナーや企画展関連行事などを行い、普及啓発に努めた。

#### ■鳥居龍蔵セミナー

この事業は、鳥居龍蔵の学説や調査活動などをそれぞれのテーマに沿って、専門講座を実施することにより、鳥居の生涯や業績を多くの方々に理解してもらい、その顕彰に寄与するものである。

- ・7月4日(日)  
第1回「鳥居龍蔵の台湾調査を振り返る」  
22人
- ・7月25日(日)  
第2回「清朝末期の中国西南部調査  
－鳥居龍蔵の旅行記を追う－」 20人
- ・8月29日(日)  
第3回「『諏訪史』第1巻から見えてくるもの  
－石剃刀と弥生式土器－」 25人
- ・9月12日(日)  
第4回「フィールドノート「那賀のあら妙」考  
－1901年、木頭調査の軌跡－」 31人
- ・10月3日(日)  
第5回「鳥居龍蔵の師・坪井正五郎について」  
22人
- ・11月21日(日)  
第6回「鳥居龍蔵の日本人起源論と大正6年の  
近畿調査」 26人
- ・12月12日(日)  
第7回「徳島人類学会の軌跡」 18人
- ・2月20日(日)  
第8回「『文学博士 鳥居龍蔵』の誕生」 25人



鳥居龍蔵セミナーの様子

#### ■企画展関連行事

- ・企画展「鳥居龍蔵と草原の遊牧王朝 遼」  
展示解説  
第1回 2月6日(日) 12人  
第2回 2月11日(金・祝) 20人  
第3回 3月6日(日) 13人
- ・企画展記念講演会  
「鳥居龍蔵の遼文化研究  
－遼(契丹)史研究の新展開をめぐって－」  
3月13日(日) 52人

#### ■文化の森共同イベント

- ・11月3日(水・祝)「文化の森 大秋祭り!!」  
(絵あわせパズルにチャレンジ!) 77人
- ・2月11日(金)  
「文化の森 ウィンターフェスティバル」  
(ぬり絵で楽しもう!) 176人

#### ■その他

- ・8月1日(日)  
夏休み自由研究スペシャル企画「みんなで発見!!  
鳥居龍蔵を知ろう!!」 25人

#### ■鳥居龍蔵ゆかりの地を歩こう

- 3月20日  
鳥居龍蔵博士生誕の地、新町小学校、瑞巖寺、国  
瑞彦神社、光仙寺、勢見岩の鼻、観潮院  
(以上、徳島市) 参加者 9人

## 2. 学校教育の支援

徳島県立博物館が主催となり開催している「教員のための博物館の日 in 徳島」に、当館も例年参加していたが、3年度も2年度に続き、新型コロナウイルス感染症対策のため中止となった。

## 3. 講師の派遣

- ・7月30日（金） 下田順一  
徳島県シルバー大学校徳島校で講演「鳥居龍蔵とその時代」（徳島県教育会館）
- ・8月17日（火） 小倉和也  
徳島県シルバー大学校美馬校で講演「鳥居龍蔵とその時代」（美馬市地域交流センター）
- ・1月31日（月） 下田順一  
徳島県シルバー大学校上坂校で講演「鳥居龍蔵とその時代」（上坂町老人福祉センター）

## 4. テレビへの出演

事業のPRのためのテレビへの出演等を、月日・出演者・内容の順に記す。

- ・7月13日（火） 下田順一 四国放送ニュース（トピックコーナー「鳥居龍蔵、台湾南東の孤島・紅頭嶼で調査する」について）
- ・3月20日（日） 下田順一 四国放送ニュース（普及行事「ゆかりの地を歩こう」について）

## 5. 徳島新聞連載への協力

徳島新聞社では令和3年4月から、文化面において「日本人の起源を探る 鳥居龍蔵知の旅」の連載を始めた（随時掲載）。当館では、このコーナーの編集協力（テーマ及び執筆者の選定、校閲）を行っている。

3年度の執筆者、テーマ、掲載日は次のとおりである。なお、当館職員以外の執筆者には所属を付した。

- ①石井伸夫 「最新学説と鳥居説」 4月11日
- ②長谷川賢二 「学問人生の原点」 5月8日
- ③石尾和仁氏（徳島県立文書館）  
「台湾の調査」 6月13日
- ④小倉和也 「中国南部の少数民族」 7月9日
- ⑤宮岡真央子氏（福岡大学）  
「台湾の探検支えた同志」 8月14日

- ⑥石井伸夫 「南方の新資料」 9月24日
- ⑦下田順一 「コロボックル・アイヌ論争」  
10月19日
- ⑧斎藤玲子氏（国立民族学博物館）  
「樺太の調査」 1月27日
- ⑨天羽利夫氏（鳥居龍蔵を語る会）  
「妻のきみ子」 2月12日
- ⑩吉井秀夫氏（京都大学）  
「朝鮮半島の調査」 3月15日

## 6. インターネットによる情報発信

### (1) ホームページの公開

鳥居龍蔵記念博物館のホームページを開設し、事業の紹介や学習教材の提供などを行っている。主な内容は次のとおりである。

- ・利用案内（開館日、観覧料、交通アクセス等）
- ・学校教育での利用（観覧料の免除と手続き、出前授業）の案内
- ・常設展の紹介
- ・「鳥居龍蔵記念 徳島歴史文化フォーラム」の紹介
- ・「鳥居龍蔵生誕150周年記念事業」の紹介
- ・鳥居龍蔵についての紹介
- ・研究報告や一部の図録類のダウンロードコーナー
- ・ご意見コーナー

### (2) デジタルアーカイブ

当館を含む文化の森総合公園文化施設では、元年度から、「徳島県文化の森デジタルアーカイブ構築事業」を実施している。3年度に当館では、44点の資料を撮影した。これらのデジタルデータは、4年度に「徳島県立鳥居龍蔵記念博物館デジタルアーカイブ」において追加公開の予定である。

### (3) 館蔵資料データベースの公開

2年度から開始した、館蔵資料データベースの公開を継続するとともに、データ整備作業を推進した。

## 7. 鳥居龍蔵記念 徳島歴史文化フォーラム

鳥居龍蔵は、徳島が生んだ世界的な学者である。彼は、人類学、民族学、考古学など多様な手法を駆使し、当時世界最先端の業績をあげたが、その礎は、地元の歴史や文化についてフィールドワークをもとに研

究し、その成果を世に問いかけた少年時代の活動にあったといっても過言ではない。このような鳥居龍蔵の取り組みを記念し、徳島の中学生・高校生による歴史文化に関する自主的な研究活動を後押しすることにより、人材の育成を図ることを目的に、平成28年度から実施しており、令和3年度で6回目となった。

なお、この事業は26・27年度に行った博学連携推進モデル事業（年報5・6号参照）の成果を踏まえて創設したものである。

### ●主催

徳島県立鳥居龍蔵記念博物館  
徳島県立博物館

### ●後援

徳島県博物館協議会

### ●募集内容及び条件

地域の歴史・文化について自主研究活動の研究結果をまとめたレポートを募集した。テーマは、①特定の地域の歴史・文化に関すること（必ずしも徳島県内に限定しない）、②鳥居龍蔵に関連することのいずれかとした。

また、研究及びレポート作成の条件として、①フィールドワーク（現地での見学や聞き取り、写真撮影等の調査）を行い、その結果をもとに考察すること、②テーマに関連する博物館や資料館を利用することとした。

### ●募集期間

7月20日（火）～11月19日（金）（レポートの提出をもって応募とする）

### ●対象（応募資格）

県内在住の中学校・高等学校及び特別支援学校（中学部、高等部）の生徒（中等教育学校の生徒及び高等専門学校3年生までの学生を含む）

※個人・グループなど、どのような形態でも参加可能

### ●募集結果

特定の地域の歴史・文化に関するテーマで、中学生の部5件、高校生の部5件の応募があり、すべてフォーラムでの口頭発表の対象とした。

### ●研究発表

- ①日程 2月26日（土）10：00～16：30  
中学生の部 10：00～12：00  
高校生の部 13：00～16：30

②会場 文化の森イベントホール

③参加者 50人

### ●審査・表彰

#### ①審査委員

立岡裕士氏（鳴門教育大学教授）  
須藤茂樹氏（四国大学教授）  
町田 哲氏（鳴門教育大学准教授）

関口 寛氏（四国大学准教授）

端野晋平氏（徳島大学准教授）

#### ②審査結果

審査の結果は次のとおりであった。

〈中学生の部〉

優 秀 賞「遺跡発掘を体験して」  
鳴門教育大学附属中学校  
木村友理香

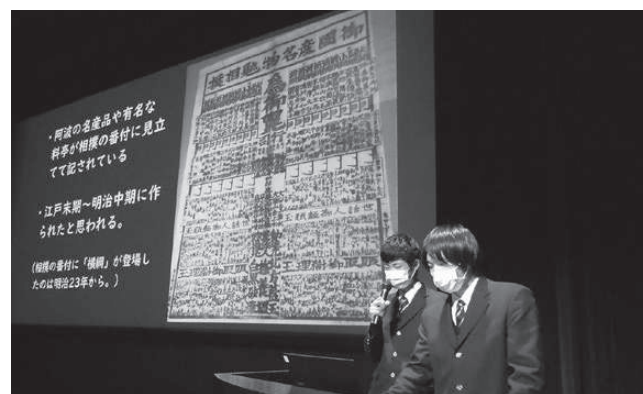
奨 励 賞「広島県呉市の海軍、海上自衛隊の歴史」  
徳島県立城ノ内中等教育学校  
藤井一慶

同 上「室町から安土桃山時代の阿波国（徳島県）支配の移り変わり」  
鳴門教育大学附属中学校 杉本賢音

〈高校生の部〉

優 秀 賞「身近に見るスペイン風邪～コロナ禍の今だからこそわかること～」  
徳島県立城東高等学校  
古谷正美、安田侑司、山元彩香

同 上「御国産名物見立相撲」掲載の名産品「佐古<sup>④</sup>金平糖」から垣間見える幕末・明治の徳島の市民生活」  
徳島県立城ノ内高等学校  
南李空、山田正



発表の様子



表彰の様子



- 奨励賞「南蔵本遺跡」  
徳島県立徳島科学技術高等学校  
上田純寧
- 同上「遺跡・地形から見る小松島の古代の姿」  
徳島県立小松島高等学校 小松島歴史クラブ  
(中村信志、川原温樹)
- 同上「そごう閉店から徳島を考えるⅡ－コロナ禍で可能な研究を目指して－」  
徳島生涯教育研究会  
(齋藤誠一郎、友成泰聖、山口秀人、山本あすか、森瑞希、州崎啓、天羽一瑛)
- 同上「徳島の〔銅鐸〕の出土地とその地形の関係性について」  
徳島県立城北高等学校  
関口友菜、新谷彩乃

●関連行事

- ①ガイダンス講座 7月18日(日)  
「フィールドワークに挑戦！」  
ガイダンス講座受講希望者を対象とし、現地を巡って基礎的な調査を体験してもらい、自主研究のスキル向上を目指した。
- 行先 徳島城跡・城山貝塚、徳島市立徳島城博物館・旧徳島城表御殿庭園、徳島藩主蜂須賀家墓所興源寺墓所、徳島城西の丸(以上、徳島市)
- 参加者 5人



ガイダンス講座の様子

- ②現地研修会 11月14日(日)  
「阿波藍ゆかりの地を歩こう in 美馬」  
レポート提出予定者を対象とし、地域の文化遺産を見学した。
- 行先 脇町南町、吉田家住宅、脇城跡周辺、穴吹町舞中島地区、光泉寺、伊射奈美神社(以上、美馬市)
- 参加者 10人



現地研修会の様子

## 8. 鳥居龍蔵記念 全国高校生歴史文化フォーラム

●主催

徳島県立鳥居龍蔵記念博物館

●募集内容及び条件

地域の歴史・文化について自主研究活動の研究成果をまとめたレポートを募集した。テーマは、①特定の地域の歴史・文化に関する事、②鳥居龍蔵に関する事のいずれかとした。

また、研究及びレポート作成の条件として、①フィールドワーク(現地での見学や聞き取り、写真撮影等の調査)を行い、その結果をもとに考察すること、②テーマに関する博物館や資料館を利用すること、③調査内容や結果からの考察を、文章、図表、地図、写真等を用いて表現することとした。

●募集期間

7月20日(火)～11月19日(金)

●対象(応募資格)

高等学校及び特別支援学校(高等部)の生徒(中等教育学校の後期課程在籍の生徒及び高等専門学校3年生までの学生を含む)

●審査委員

- 立岡裕士氏(鳴門教育大学教授)
- 須藤茂樹氏(四国大学教授)
- 町田 哲氏(鳴門教育大学准教授)
- 関口 寛氏(四国大学准教授)
- 端野晋平氏(徳島大学准教授)

●審査

- ①1次審査(書類選考)を行い、優秀な研究を表彰した。
- ②1次審査の結果、上位の4組については、フォーラム(研究発表会)に参加し、口頭報告を行ってもらい、最優秀者を選考し、表彰した。

●1次審査(書類審査)の結果

## 【優秀賞】

- ・「隠された Trajectory ～SDGs から考える過去と未来～」  
山口県立柳井高等学校 神代樹香、茅原鼓海
- ・「江戸時代の薬師寺～下野領に根付く秋田藩佐竹氏の存在～」  
栃木県立石橋高等学校 歴史研究部（チーム石）  
（屋敷亮太、荒川真衣、古賀柚香、細野花、野中翔太、戸塚美紗、戸塚理紗）
- ・「鳥取池田家の家老墓について」  
鳥取県立八頭高等学校 亀の会  
（大東樹生、岡田和華、國米優月、前田一輝、村田颯士、山根瑠斗、平尾咲弥子）
- ・「関飛行場及びその関連施設の調査 陸軍秘匿飛行場の作戦構想とその実態」  
岐阜県立関高等学校 地域研究部  
（藤井大輝、山内康誠、小山政亮、谷村宗晃、河路康太、小原和也、渡辺貫太）

## 【入賞】

- ・「100年前から学ぶ－愛媛県におけるスペイン・インフルエンザの流行について－」  
愛媛県立西条高等学校 地歴公民 A3 班  
（小野智優、工藤萌絵、河本美涼、三浦彩楽、蓑田楓）
- ・「伊予の国小野谷に残る小野小町伝承の謎を解く」  
愛媛県立松山北高等学校 郷土研究部  
（大家帆香、大森真歩、峰岡葉菜）
- ・「秋山郷における秘境イメージの妥当性」  
早稲田大学高等学院 鈴木涼之介、スミス頼安
- ・「五輪塔から始まる中世久万ノ台の歴史」  
愛媛県立松山西中等教育学校 大槻千寿
- ・「江戸時代の薬品～金置救命丸の発展と一橋家との関わり～」  
栃木県立石橋高等学校 歴史研究部（チーム丸）  
（塩澤征来、早乙女楓花、西岡論、大根田咲弥、大野一樹）
- ・「ウミウと鵜匠の関わりからみた鵜飼漁法～岐阜県関市小瀬鵜飼のフィールドワークから～」  
岐阜県立関高等学校 地域研究部  
（藤村彩須果、田中莉子）

## 【佳作】

- ・「北条義時 執権への過程」  
静岡県立韮山高等学校 露木彩乃、古田采音
- ・「昭和16年の東京オリンピックに代わる水泳記録会の謎」  
大東文化大学第一高等学校 地理歴史研究部  
（遠藤輔、新海日菜子、菅原千尋、井上睦斗、

寄本大雅、若月和輝)

- ・「不説斎の謎と白川氏300年の居城白川城～謎多き白川氏の正体に迫る～」  
学校法人石川高等学校 考古学部（田中友陽）
- ・「太良城にまつわる歴史」  
鹿児島県立大口高等学校 比江島歩花
- ・「周防大島町の架け橋～ハワイ移民を通して～」  
山口県立柳井高等学校 西本和叶、村上晴歌
- ・「戦国城下町・岐阜を歩く」  
鶯谷高等学校 地歴サークル部  
（尾崎心、牛丸万祐子）
- ・「歴史ツアー「夕雲の城」構想の実現に向けて」  
岐阜県立関高等学校 地域研究部  
（河路康太、小原和也、渡邊貫太、田中莉子、藤村彩須果、石原伶緒）



開会式の様子



オンライン報告の様子

## ●フォーラム（発表会）

- ①日程 2月27日（日）12:00～16:30
- ②会場 文化の森 21世紀館 1階 イベントホール
- ③参加者 34人
- ④題目・発表者（発表順）及び審査結果

- ・「隠された Trajectory ～SDGs から考える過去と未来～」  
山口県立柳井高等学校 神代樹香、茅原鼓海
- ・「江戸時代の薬師寺～下野領に根付く秋田藩佐竹氏の存在～」  
栃木県立石橋高等学校 チーム石  
(屋敷亮太、荒川真衣、古賀柚香、細野花、野中翔太、戸塚美紗、戸塚理紗)
- ・「鳥取池田家の家老墓について」  
鳥取県立八頭高等学校 亀の会  
(大東樹生、岡田和華、國米優月、前田一輝、村田颯士、山根瑠斗、平尾咲弥子)
- ・「関飛行場及びその関連施設の調査 陸軍秘匿飛行場の作戦構想とその実態」  
岐阜県立関高等学校 地域研究部  
(藤井大輝、山内康誠、小山政亮、谷村宗晃、河路康太、小原和也、渡辺貫太)
- ・「身近に見るスペイン風邪～コロナ禍の今だからこそわかること～」  
徳島県立城東高等学校  
古谷正美、安田侑司、山元彩香
- ・「御国産名物見立相撲」掲載の名産品「佐古<sup>㊤</sup>金平糖」から垣間見える幕末・明治の徳島の市民生活」  
徳島県立城ノ内高等学校 南李空、山田正

**【最優秀賞】**

- ・「関飛行場及びその関連施設の調査 陸軍秘匿飛行場の作戦構想とその実態」  
岐阜県立関高等学校 地域研究部  
(藤井大輝、山内康誠、小山政亮、谷村宗晃、河路康太、小原和也、渡辺貫太)

9. 普及教育関係出版物

- 令和2年度 鳥居龍蔵記念 徳島歴史文化フォーラム報告書  
令和3年5月31日発行、A4判13ページ、1,000部



「鳥居龍蔵記念 徳島歴史文化フォーラム報告書」表紙

- 鳥居龍蔵記念博物館 NEWS LETTER No.1  
令和4年1月20日発行、A4判8ページ、3,000部



「NEWS LETTER」表紙

# V 管理運営

## 1. 組織・職員

### (1) 組織図（令和4年4月1日現在）

館長 1 — 副館長 [1] — 企画・学芸担当 5 [4]  
 （事務職員 [2]  
 学芸員 3 [2]、  
 会計年度任用職員 2）  
 [ ] は兼務者数（外数）

### (2) 職員名簿（令和4年4月1日現在）

館長 長谷川賢二  
 副館長 岡島 敏子（文化の森振興センター  
 副所長本務）  
 〈企画・学芸担当〉  
 課長 大橋 俊雄（県立博物館課長（人文担当）本務）  
 課長補佐 森 篤之（県立博物館課長補佐本務）  
 係長 丸山 直生（県立博物館係長本務）  
 学芸係長 下田 順一  
 主席 石井 伸夫  
 学芸係長 松永 友和（県立博物館学芸係長本務）  
 学芸員 小林 篤正  
 会計年度任用職員 松浦まり子  
 会計年度任用職員 宮田正友美

### (3) 人事異動

〈令和4年3月31日付〉

転出：小倉和也・主事、城南高等学校教諭  
 転出（兼務解除）：東條揚子・副館長、自治研修センター所長  
 退職（兼務解除）：岡本治代・主任

〈令和4年4月1日付〉

転入（兼務）：岡島敏子・副館長（教育委員会福利厚生課長）  
 ※文化の森振興センター副所長本務  
 新規採用：小林篤正・学芸員  
 兼務：小林篤正・県立博物館学芸員、文化の森振興センター

### (4) 令和3年度会計年度任用職員

#### ●会計年度任用職員

松浦まり子（令和3.4.1～令和4.3.31）  
 宮田正友美（令和3.4.1～令和4.3.31）

## 2. 防災及び危機管理

### (1) 防災及び危機管理体制

危機管理全般については、文化の森振興センターを中心に、文化の森全館の館長・副館長が協議しながら、対応する体制を整えている。また、防災について、文化の森4館棟で消防防災計画を立て、二十一世紀館、博物館、近代美術館、当館と文化の森の警備、設備、食堂等の業者で自衛消防隊を組織し、非常時に供えている。

### (2) 新型コロナウイルス感染症拡大への対応

令和元年度末から流行が始まった新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、次のとおり対策を講じた。

#### ① ゴールデンウィークにおける臨時休館

入院増加の懸念により、感染対策として、4月29日から5月6日まで休館した（レファレンス業務は継続）。また、代替サービスを推進し、ホームページコンテンツの拡充に努めた。

#### ② 感染拡大防止に配慮した利用者サービスの実施

（公財）日本博物館協会が作成したガイドライン等を踏まえて、展示観覧や行事参加においてはアルコールによる手指消毒や検温、マスク着用などの協力を要請したほか、所要箇所にアクリル製パーティションや除菌装置を設置した。また、展示に関しては、参加者の密集による感染リスクに留意し、必要に応じて入場制限を行い、各種の行事は全面的に規模を縮小し、屋内の場合は換気を徹底することとした。一方、職員もマスク着用や手指消毒などを徹底した。

### (3) 防災訓練

二十一世紀館を中心に、教養型消防訓練を行った。また、3月25日（金）には消火実践訓練として、消防設備の現場確認や取扱説明を受けたほか、水消火器を使用した訓練を行い、防災意識を高めた。

### 3. 鳥居龍蔵記念博物館協議会

鳥居龍蔵記念博物館協議会は、運営に関し館長の諮問に応じるとともに、館長に対して意見を述べる機関で、博物館法及び徳島県文化の森総合公園文化施設条例の規定にもとづき設置されている。委員は、県立博物館協議会委員による兼務である。

令和3年度は、県立博物館協議会を兼ねて1回開催した。

#### ●令和3年度鳥居龍蔵記念博物館協議会

日時：令和3年9月29日（水）

午後1時30分～午後3時50分

会場：徳島県立博物館 講座室、同 常設展示室  
議事

- (1)令和2年度事業の実施状況について
- (2)令和3年度予算及び事業概要について
- (3)徳島県立鳥居龍蔵記念博物館新常設展について

#### 令和3年度鳥居龍蔵記念博物館協議会委員

(令和4年3月31日現在)

区分	氏名	役職等
学校教育	生駒 佳也	徳島県立阿南光高等学校教諭
社会教育	○安倍 久恵	フリーアナウンサー・佐古絆文化協会事務局
	原 多賀子	京都外国語大学非常勤講師
	西 記代子	四国大学文学部講師
学識経験	塩瀬 隆之	京都大学総合博物館准教授
	坂本 優子	日本航空(株) 徳島支店長
	瀬戸 恵深	(株)エフエムびざん放送部ディレクター
	◎町田 哲	鳴門教育大学大学院学校教育研究科准教授
	松村 幸江	阿波市国際交流の会会長
家庭教育	森脇佳代子	阿南市立羽ノ浦小学校PTA人権教育研修広報部役員

◎は会長、○は副会長

### 4. 視察等来訪者

1月18日 国立遺伝学研究所集団遺伝研究室  
斎藤成也氏ら一行

3月22日 立命館大学 高正龍氏ら一行

# VI 観覧者統計

## ●令和3年度 常設展観覧者数

月	開館 日数	有 料 観 覧 者							無 料 観 覧 者														観覧者 総数					
		個 人			団 体 (割引20%)				有料 観覧者 計	学 校 教 育						個 人						無料 観覧者 計						
		一般	高校・ 大学生	小・中 学生	一般	高校・ 大学生	小・中 学生	幼稚園・保育園		小学校	中学校	高校	計	小学生	中学生	高校生	障がい者	高齢者	その他									
4月	24	32	9	0	13	2	0	56	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	28	5	5	9	48	33	128	184	
5月	21	42	5	0	9	2	0	58	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	36	2	3	13	34	34	122	180	
6月	26	37	10	0	14	1	0	62	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	23	3	7	1	51	24	109	171	
7月	27	36	5	0	21	5	0	67	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	78	6	4	8	60	140	296	363	
8月	26	40	13	0	28	3	0	84	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	217	26	7	11	104	461	826	910	
9月	26	15	14	0	26	8	0	63	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	85	17	4	15	73	240	434	497	
10月	27	26	12	0	29	5	0	72	1	72	8	727	0	0	0	0	0	0	9	799	22	2	4	10	105	44	986	1,058
11月	25	11	2	0	8	2	0	23	0	0	9	459	0	0	0	0	0	0	9	459	88	9	11	4	136	603	1,310	1,333
12月	24	20	7	0	22	4	0	53	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	21	0	2	12	46	40	121	174	
1月	23	15	8	0	16	4	0	43	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	22	4	3	5	59	69	162	205	
2月	24	44	8	0	26	2	0	80	0	0	1	40	0	0	0	0	0	0	1	40	52	3	2	8	82	206	393	473
3月	27	22	12	0	43	9	0	86	0	0	0	0	0	0	1	5	1	5	5	32	5	4	23	68	125	262	348	
計	300	340	105	0	255	47	0	747	1	72	18	1,226	0	0	1	5	20	1,303	704	82	56	119	866	2,019	5,149	5,896		

## ●常設展観覧者数累計

年 度	開館 日数	有 料 観 覧 者							無 料 観 覧 者														観覧者 総数								
		個 人			団 体 (割引20%)				有料 観覧者 計	学 校 教 育						個 人						無料 観覧者 計									
		一般	高校・ 大学生	小・中 学生	一般	高校・ 大学生	小・中 学生	大 人		減免(割引50%)	幼稚園・保育園	小学校	中学校	高校	計	小学生	中学生	高校生	障がい者	高齢者	その他										
平22	121	909	33	6	66	0	0	790	49	839	0	0	1,853	9	540	15	851	2	12	1	15	27	1,418	1,259	60	37	-	-	3,432	6,206	8,059
平23	309	895	77	13	71	44	0	556	84	640	0	0	1,740	1	90	32	2,179	7	641	3	332	43	3,242	2,950	270	214	-	-	8,510	15,184	16,924
平24	308	621	106	4	65	0	0	120	22	142	0	0	938	2	182	33	2,450	2	9	2	341	39	2,982	3,089	225	135	129	829	7,256	14,645	15,583
平25	307	506	176	4	48	48	0	-	-	-	-	-	782	10	538	36	2,197	1	3	1	142	48	2,880	2,886	294	158	203	1,071	6,382	13,874	14,656
平26	307	436	150	9	110	18	0	-	-	-	-	-	723	8	381	32	1,755	5	97	3	335	48	2,568	2,770	200	76	320	1,575	6,080	13,589	14,312
平27	308	409	105	1	266	50	5	-	-	-	-	-	836	3	250	14	644	0	0	1	37	18	931	3,334	323	168	398	2,111	7,964	15,229	16,065
平28	308	389	83	1	202	13	2	-	-	-	-	-	690	4	180	7	120	2	81	1	25	14	406	4,310	325	198	415	1,897	9,698	17,249	17,939
平29	308	338	70	1	191	21	0	-	-	-	-	-	621	5	164	5	343	1	59	3	264	14	830	3,143	267	188	238	1,697	7,203	13,566	14,187
平30	308	276	71	2	147	43	1	-	-	-	-	-	540	6	119	11	373	1	113	1	12	19	617	2,445	206	184	229	1,662	7,035	12,378	12,918
令1	307	260	51	0	130	30	4	-	-	-	-	-	475	2	56	23	697	0	0	1	32	26	785	3,020	208	160	141	1,728	8,298	14,347	14,822
令2	292	395	70	22	237	11	144	-	-	-	-	-	879	2	106	13	869	1	36	0	0	17	1,011	1,073	75	49	175	1,054	2,459	5,896	6,775
令3	300	340	105	0	255	47	0	-	-	-	-	-	747	1	72	18	1,226	0	0	1	5	20	1,303	704	82	56	119	866	2,019	5,149	5,896
計	3,484	5,774	1,097	63	1,788	325	156	1,466	155	1,621	0	0	10,824	53	2,678	239	13,704	22	1,051	18	1,540	333	18,973	30,983	2,535	1,623	2,367	14,490	76,336	147,312	158,136

(※) 平成24年9月から、高齢者(65歳以上)及び障がい者は無料。

## ●企画展観覧者数累計

企 画 展 名	開 催 期 間	開 催 日 数	有 料 観 覧 者							無 料 観 覧 者				観覧者 総数		
			個 人			団 体 (割引20%)				有 料 観覧者 計	個 人				無 料 観覧者 計	
			一般	高校・ 大学生	小・中 学生	一般	高校・ 大学生	小・中 学生	減免(割引50%)		一般	高校・ 大学生	小・中 学生			障がい者
鳥居龍蔵の見た台湾	平24.1.28~3.11	38	549	21	1	14	1	0	559	34	1,179	20	1,037	363	1,420	2,599
鳥居龍蔵の国内調査 - 沖縄・南九州 -	平26.1.25~3.2	32	270	22	0	11	0	0	139	-	442	9	595	707	1,311	1,753
よみがえる縄文世界 - 鳥居龍蔵の信州調査 -	平27.1.24~3.1	32	377	40	7	78	0	0	285	-	787	39	805	1,196	2,040	2,827
鳥居龍蔵 - 世界に広がる知の遺産 -	平28.1.23~2.28	32	179	19	0	94	2	0	266	-	560	61	309	901	1,271	1,831
遙かなるマチュピチュ - 鳥居龍蔵、南アメリカを行く -	平29.1.28~3.5	32	536	29	2	194	4	1	592	-	1,358	30	494	1,023	1,547	2,905
鳥居龍蔵、日本人の起源に迫る - 本山彦一との交流 -	平30.2.10~3.18	32	144	10	0	49	0	0	167	-	370	25	283	1,068	1,376	1,746
鳥居龍蔵と小金井良精 - 日本人の起源を求めて -	平31.1.26~3.3	32	122	5	0	43	2	0	139	-	311	16	484	1,024	1,524	1,835
文化財調査の先覚者 - 鳥居龍蔵、徳島を探る	令2.2.8~3.15	32	120	9	1	49	0	0	165	-	344	36	295	728	1,137	1,481
鳥居龍蔵の学問と世界	令3.2.13~3.21	32	60	2	2	43	0	0	111	-	218	5	43	280	328	546
鳥居龍蔵と草原の遊牧王朝 遼	令4.2.5~3.13	32	106	20	0	36	2	0	141	-	305	8	184	286	478	783
合 計		326	2,463	177	13	611	11	1	2,564	34	5,874	249	4,529	7,576	12,432	18,306

(※) 平成24年9月から、障がい者は無料。

## 22 観覧者統計

### ●特別陳列観覧者数累計

展示会名	開催期間	開催日数	観覧者総数
鳥居龍蔵の見た北東アジア	平23.10.29～12.4	32	4,534
鳥居龍蔵とアイヌ	平25.1.26～3.3	32	5,465
合 計		64	9,999

### ●人権啓発展観覧者数累計

展示会名	開催期間	開催日数	観覧者数
2010年度人権問題啓発展	平22.11.30～12.5	6	670
2011年度人権問題啓発展	平23.12.6～12.11	6	383
2012年度人権問題啓発展	平24.12.4～12.9	6	356
2013年度人権問題啓発展	平25.12.4～12.10	6	341
2014年度人権問題啓発展	平26.12.10～12.16	6	315
2015年度人権問題啓発展	平27.12.9～12.15	6	270
2016年度人権問題啓発展	平28.12.9～12.15	6	244
2017年度人権問題啓発展	平29.12.6～12.12	6	227
2018年度人権問題啓発展	平30.12.5～12.11	6	382
2019年度人権問題啓発展	令1.12.4～12.10	6	278
2020年度人権問題啓発展	令2.12.9～12.15	6	447
2021年度人権問題啓発展	令3.12.8～12.14	6	305
合 計		72	4,218

### ●啓発展をのぞく共催事業観覧者・参加者数

展示会名	開催期間	開催日数	観覧者数
鳥居龍蔵が見た「祭り」「踊り」	平23.7.20～23.8.28	36	4,038
合 計		36	4,038

(※) 観覧者数は開催期間中の常設展来館者数合計。

### ●館内各種展示観覧者数

展示会名	開催期間	開催日数	観覧者数
鳥居龍蔵の南アメリカ調査と乗り物	平29.2.4～29.4.23	68	11,031
鳥居龍蔵生誕150周年「鳥居龍蔵とは?」	令2.7.21～2.11.29	114	8,230
鳥居龍蔵が撮影した台湾-人々と風景-	令3.9.14～4.2.6	120	12,715
合 計		302	31,976

### ●利用者総数年度別一覧

年度	常 設 展		常設展 観覧者 合 計	企画展 観覧者	特別陳列 観 覧 者	移動展等	普及行事 参 加 者	その他	利用者総数
	有 料 観覧者	無 料 観覧者							
平22年度	1,853	6,206	8,059	-	-	-	236	670	8,965
平23年度	1,740	15,184	16,924	2,599	4,534	-	412	4,421	28,890
平24年度	938	14,645	15,583	-	5,465	-	1,968	356	23,372
平25年度	782	13,874	14,656	1,753	-	-	3,387	370	20,166
平26年度	722	13,589	14,311	2,827	-	-	4,167	336	21,641
平27年度	836	15,229	16,065	1,831	-	-	2,898	527	21,321
平28年度	690	17,249	17,939	2,905	-	8,439	4,521	844	34,648
平29年度	621	13,566	14,187	1,746	-	2,592	3,282	430	22,237
平30年度	540	12,378	12,918	1,835	-	-	3,174	649	18,576
令元年度	475	14,347	14,822	1,481	-	-	3,047	479	19,829
令2年度	879	5,896	6,775	546	-	8,230	380	1,823	17,754
令3年度	747	5,149	5,896	783	-	12,715	672	419	20,485
累 計	10,823	147,312	158,135	18,306	9,999	31,976	28,144	11,324	257,884

(※) 特別陳列は自主事業のみの観覧者数。その他は、人権啓発展と共催事業を合わせた観覧者数

# VII 施設の概要

## 1. 沿革

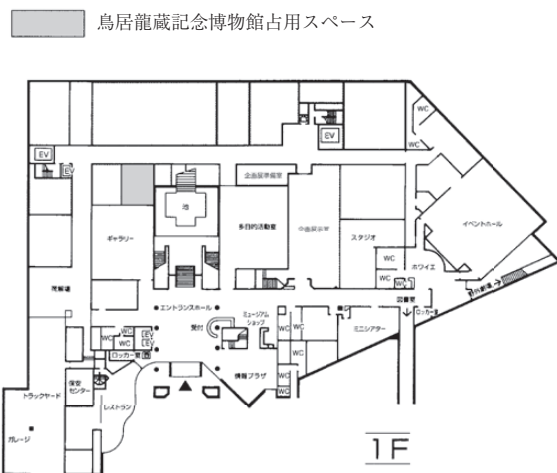
- 昭和40年 3月 鳴門市撫養町の妙見山に旧館(徳島県立鳥居龍蔵記念博物館)開館
- 平成18年 7月 鳥居龍蔵博士の顕彰等に関する検討委員会設置
- 19年12月 鳥居龍蔵博士の顕彰等に関する検討委員会が「鳥居龍蔵博士の顕彰等に関する検討委員会報告書」を知事に提出
- 20年 3月 徳島県立鳥居龍蔵記念博物館展示検討委員会設置
- 7月 徳島県立鳥居龍蔵記念博物館展示検討委員会が「徳島県立鳥居龍蔵記念博物館(仮称)展示計画書」をとりまとめ
- 21年 3月 展示実施設計完了
- 7月 展示工事着手
- 22年 3月 旧館閉館
- 9月 展示工事竣工
- 11月 開館
- 28年 1～2月 開館5周年記念事業として、企画展「鳥居龍蔵－世界に広がる知の遺産－」及び国際講演会「鳥居龍蔵の再発見－国内外の視点から－」を開催

- 令和 2年 4月 教育委員会から知事部局に移管
- 11月 文化の森開園30周年記念共同企画展「文化遺産を後世に伝える－とくしまデジタルアーカイブ－」を開催
- 令和 3年 2月～3月 鳥居龍蔵生誕150周年記念・開館10周年事業として、「鳥居龍蔵生誕150周年記念全国高校生歴史文化フォーラム2020in徳島」及び国際シンポジウム「鳥居龍蔵と現代社会－その学問と資料の意義を問う－」などを開催

## 2. 施設の概要

- 所在地 徳島市八万町向寺山
- 敷地面積 40.6ha (文化の森総合公園全体)
- 延床面積 485㎡ (展示室、収蔵庫、器材庫等鳥居龍蔵記念博物館占用スペース)
- 構造規模 鉄筋コンクリート造 地上4階・塔屋1階・地下1階
- 改築工事 岡島建築事務所(設計)・小野建設(施工)
- 展示工事 (株)丹青社(設計・施工)

1階平面図



2階平面図



(※) 鳥居龍蔵記念博物館の占有スペースのない階は平面図を省略した。



## VIII 例 規

### ●徳島県文化の森総合公園文化施設条例（抜粋）

制 定 平成2年3月26日 徳島県条例第11号

最近改正 令和4年3月18日 徳島県条例第10号

（設置）

第1条 個性豊かな県民文化を振興し、魅力のある地域づくりに寄与するため、県民の文化活動の拠点として、徳島県文化の森総合公園文化施設（以下「文化施設」という。）を徳島市八万町に設置する。

（名称及び業務）

第2条 文化施設の名称及び業務は、次のとおりとする。

名 称	業 務
徳島県立鳥居龍蔵記念博物館 （以下「鳥居記念館」という。）	1 鳥居龍蔵に関する資料（以下「鳥居記念館資料」という。）を収集し、保管し、及び展示すること。 2 鳥居記念館に関する調査研究を行うこと。 3 鳥居記念館資料に関する講座等の教育普及事業を行うこと。 4 その他鳥居記念館の設置の目的を達成するために必要な事業を実施すること。

（利用の許可）

第3条 （省略）

（観覧料等）

第4条 博物館が展示する博物館資料、美術館が展示する美術館資料又は鳥居記念館が展示する鳥居記念館資料を観覧する者に対しては、別表第1に掲げる額の観覧料を徴収する。

2 （省略）

3 知事は、特別の理由があると認めるときは、観覧料又は使用料の全額又は一部を免除することができる。

4 観覧料及び使用料の徴収の時期及び方法その他観覧料及び使用料に関し必要な事項は、規則で定める。

（損害の賠償）

第5条 文化施設を利用する者は、文化施設の施設、資料等をき損し又は亡失したときは、これによって生じた損害を賠償しなければならない。ただし、知事は、当該き損又は亡失がやむを得ない理由によるものであると認めるときは、その賠償責任の全部又は一部を免除することができる。

（職員）

第6条 図書館法（昭和25年法律第118号）及び博物館法（昭和26年法律第285号）に定めるもののほか、文化施設に、館長その他必要な職員を置く。

（協議会）

第7条 知事の附属機関として、次の表の上欄に掲げる協議会を置き、これらの協議会の所掌事務は、それぞれ同表の下欄に掲げるとおりとする。

（他館の各協議会の所掌事務は省略）

協議会の名称	所 掌 事 務
徳島県立鳥居龍蔵記念博物館協議会	鳥居記念館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べること。

2 協議会は、委員10人以内で組織する。

3 徳島県立図書館協議会、徳島県立博物館協議会、徳島県立近代美術館協議会及び徳島県立鳥居龍蔵記念博物館協議会の委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者のうちから任命するものとする。

4 （省略）

- 5 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 6 委員は、再任されることができる。
- 7 前各項に定めるもののほか、協議会の組織及び運営に関し必要な事項は、規則で定める。  
(規則への委任)

第8条 この条例に定めるもののほか、文化施設の管理に関し必要な事項は、規則で定める。

**別表第1 (第4条関係)**

区 分	単 位	金 額			
		常 設 展		企 画 展	
		個 人	団 体 (20人 以上をいう。 以下同じ)	個 人	団 体
美術館及び 鳥居記念館資料	小・中学生	1人1回	50円	40円	知事はその都度定める額
	高校・大学生等	1人1回	100円	80円	
	一 般	1人1回	200円	160円	

(備考)

「小・中学生」とは小学校の児童及び中学校の生徒並びにこれらに準ずる者を、「高校・大学生等」とは高等学校の生徒並びに高等専門学校及び大学の学生並びにこれらに準ずる者を、「一般」とは小・中学生及び高校・大学生等以外の者（学齢に達しない者を除く。）をいう。

## ●徳島県立鳥居龍蔵記念博物館管理規則

制 定 令和2年3月24日 徳島県規則第50号

(趣旨)

第1条 この規則は、徳島県立鳥居龍蔵記念博物館（以下「鳥居記念館」という。）の管理に関し必要な事項を定めるものとする。

(休館日)

第2条 鳥居記念館の休館日は、次に掲げるとおりとする。

(1)月曜日（月曜日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日（以下「休日」という。）に当たるときは、その日後においてその日に最も近い休日でない日）

(2)1月1日から同月4日まで及び12月29日から同月31日まで

2 知事は、特に必要があると認めるときは、前項の規定にかかわらず、臨時に休館し、又は同項に規定する休館日に開館することができる。

(供用時間)

第3条 鳥居記念館の供用時間は、午前9時30分から午後5時までとする。

2 知事は、特に必要があると認めるときは、前項の規定にかかわらず、同項に規定する供用時間を変更することができる。

(遵守事項)

第4条 鳥居記念館を利用する者は、徳島県文化の森総合公園文化施設条例（平成2年徳島県条例第11号）及びこの規則並びに知事が別に定める利用者心得その他の規律を守らなければならない。

(入館の禁止等)

第5条 知事は、次の各号のいずれかに該当する者に対しては、入館を禁止し、又は退館を命ずることができる。

(1)泥酔者及び伝染性の疾病にかかっていると認められる者

(2)前条の規定に違反し、又はそのおそれがある者

(資料の特別利用)

第6条 学術その他の目的のために鳥居記念館資料の撮影、模写等をしようとする者は、あらかじめ、知事の承認を受けなければならない。

(補則)

第7条 この規則に定めるもののほか、鳥居記念館の管理に関し必要な事項は、知事が別に定める。

## ●徳島県立鳥居龍蔵記念博物館協議会規則

制 定 令和2年3月24日 徳島県規則第44号

(趣旨)

第1条 この規則は、徳島県文化の森総合公園文化施設条例（平成2年徳島県条例第11号）第7条第7項の規定に基づき、徳島県立鳥居龍蔵記念博物館協議会（以下「協議会」という。）の組織及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(会長及び副会長)

第2条 協議会に、会長及び副会長各1人を置く

2 会長及び副会長は、委員の互選によって定める。

3 会長は、協議会を代表し、会務を総理する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第3条 協議会の会議は、会長が招集する。

2 協議会の会議は、委員の半数以上の出席がなければ、開くことができない。

3 協議会の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

(雑則)

第4条 この規則に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、会長が協議会に諮って定める。

## ●徳島県行政組織規則（抜粋）

制 定 昭和42年3月28日 徳島県規則第15号

最近改正 令和4年3月31日 徳島県規則第30号

第1章 総 則（省略）

第2章 事務部局（省略）

第3節 センター等〔鳥居龍蔵記念博物館に係る内容のみ〕

第1款 設置等

(法令又は条例の規定により設置されたセンター等の名称等)

第34条 前条第1項に規定する機関のほか、次の表の上欄に掲げる部に、それぞれ同表の下欄に掲げる機関を設置する。

部及び局	機 関		
	名 称	設置の目的又は根拠法令	位 置
未来創生文化部	徳島県文化の森振興センター	徳島県文化の森総合公園文化施設の運営を総合的に推進するため	徳島市八万町

2 次の表の上欄に掲げる機関については、それぞれ同表の下欄に掲げる法令又は条例の規定により設置された機関を当該上欄に掲げる機関を構成する機関とする。

機 関	法令又は条例の規定により設置された機関		
	名 称	位 置	所管区域
徳島県文化の森振興センター	徳島県立鳥居龍蔵記念博物館（以下「鳥居記念館」という。）	徳島市八万町	

第2款 内部組織及び分掌事務

(分掌事務)

第36条 センター等の分掌事務は、別表第6に掲げるとおりとする。

第3款 職及び職務

(所長)

第38条 センター等に所長（(省略) 図書館、博物館、美術館、文書館、二十一世紀館、鳥居記念館（省略）にあつてはそれぞれの機関の名称を冠した長（省略）。以下この款において「所長」という。）を置く。

2 所長は、上司の命を受け、当該機関の事務をつかさどり、所属職員を指揮監督する。

(副所長等)

第39条 前条に規定する職のほか、次の表の上欄に掲げる職をそれぞれ同表の下欄に掲げる機関に置く。

職	機 関
副 館 長	(1)図書館 (2)博物館 (3)美術館 (4)文書館 (5)二十一世紀館 (6)鳥居記念館

2 副所長、副校長、副館長及び副課長の職務は、上司の命を受け、所長を補佐するものとする。

(主幹等)

第41条 前3条に規定する職のほか、必要と認めるときは、次の表の上欄に掲げる職をセンター等又はセンター内課等に置き、その職務は、それぞれ同表の下欄に掲げるとおりとする。

職	職 務
課 長	上司の命を受け、センター等の重要施策又は重要事業の推進に関する事務又は試験研究のうち高度の知識又は経験を必要とするものを処理する。
課 長 補 佐	上司の命を受け、センター等又はセンター内課等の重要施策又は重要事業の推進に関する事務に従事する。
上 席 学 芸 員	上司の命を受け、博物館、美術館又は鳥居記念館の重要施策又は重要事業の推進に関する資料の収集、保管、展示及び調査研究その他これらと関連する業務に従事する。
主 査	上司の命を受け、高度の知識又は経験を必要とする事務に従事する。
専 門 学 芸 員	上司の命を受け、高度の知識又は経験を必要とする資料の収集、保管、展示及び調査研究その他これらと関連する業務に従事する。
係 長	上司の命を受け、センター等又はセンター内課等の事務に関し命ぜられた事項を処理する。
学 芸 係 長	上司の命を受け、博物館、美術館又は鳥居記念館の資料の収集、保管、展示及び調査研究その他これらと関連する業務に従事する。
主 席	上司の命を受け、特に命ぜられた相当の知識又は経験を必要とする事務に従事する。
主 任	上司の命を受け、相当の知識又は経験を必要とする事務又は試験研究の業務に従事する。

(主任主事等)

第42条 前38条から前条までに規定する職のほか、センター等又はセンター内課等に、別表第4の上欄に掲げる職のうち必要な職を置き、その職務は、それぞれ同表の下欄に掲げるとおりとする。

第3章 附属機関

第57条 附属機関の名称及び庶務を担当する組織は、別表第8に掲げるとおりとする。

別表第4 主任主事等の職及び職務

職	職 務
主 任 主 事	上司の命を受け、相当の経験を必要とする事務に従事する。
主 事	上司の命を受け、事務に従事する。
主 任 学 芸 員	上司の命を受け、相当の経験を必要とする博物館、美術館又は鳥居記念館の資料の収集、保管、展示及び調査研究その他これらと関連する業務に従事する。
学 芸 員	上司の命を受け、博物館、美術館又は鳥居記念館の資料の収集、保管、展示及び調査研究その他これらと関連する業務に従事する。

別表第6 センター等の分掌事務

センター等	分 掌 事 務
鳥 居 記 念 館	(1)鳥居龍蔵に関する資料（以下「鳥居記念館資料」という。）を収集し、保管し、及び展示すること。 (2)鳥居記念館資料に関する調査研究を行うこと。 (3)鳥居記念館資料に関する講座等の教育普及事業を行うこと。 (4)その他鳥居記念館の設置の目的を達成するために必要な事業を実施すること。

別表第8 附属機関の名称及び庶務を担当する組織

	名 称	庶務を担当する組織
74	徳島県立鳥居龍蔵記念博物館	鳥居記念館

## 徳島県立鳥居龍蔵記念博物館年報 第12号(令和3年度)

---

令和4年(2022)7月31日 発行

編集・発行：徳島県立鳥居龍蔵記念博物館

〒770-8070 徳島市八万町向寺山

(文化の森総合公園内)

Tel. 088-668-2544 Fax. 088-668-7197

Eメール [torii-museum@bunmori.tokushima.jp](mailto:torii-museum@bunmori.tokushima.jp)

ホームページ <https://torii-museum.bunmori.tokushima.jp/>

印 刷：星印刷株式会社

---